

“交流人口300万人・経済人口10万人”のまちを目指して

“住んでよし・働いてよし・訪れてよし”の選ばれるまち 舞鶴

心豊かに暮らせるまちづくり

全国に先駆けた「地方創生」の実現

安心のまちづくり

活力あるまちづくり

安心な医療福祉

交通網の充実

都会並の教育

安価な衣食住

働く場の確保

若者と高齢者のクロスシフトによる舞鶴版コンパクトシティ

まちづくりの基礎固め

安心のまちづくり

- ◇中丹地域医療再生計画に基づく病院の機能強化
- ◇公的4病院の診療科のセンター化機能充実
- ◇公的4病院すべてが京都府立医大の関連病院に
- ◇療養型の新市民病院を赤十字病院の隣接地に移転
- ◇YMCA国際福祉専門学校誘致実現
- ◇介護人材確保奨学金制度を創設
- ◇介護支援プログラムの実施
- ◇高齢者外出支援事業の試行実施
- ◇子ども医療費助成拡大、中学生入院医療助成実施
- ◇統合保育所と子育て交流拠点施設の整備
- ◇市内統一中学生学力テストの導入実施
- ◇夢チャレンジサポート事業の実施
- ◇全小・中学校を耐震化整備、エアコン整備
- ◇地域づくりサポート制度の実施
- ◇中学校給食を導入
- ◇危機管理防災体制強化、防災行政無線拡充
- ◇台風18号災害への迅速な対応
- ◇由良川緊急水防対策の整備促進
- ◇災害時における旧軍港市相互応援に関する協定締結

活力あるまちづくり

- ◇物流関係企業の立地、港湾利用企業の操業開始
- ◇工業適地への新規立地補助要件の緩和
- ◇京都舞鶴港の日本海側拠点港選定
- ◇外航クルーズ船の寄港増加(H23:3回→H26:15回)
- ◇コンテナ貨物の増加(H22:4,106TEU→H26:約9,100TEU)
- ◇国際フェリー航路実現の取り組み(浦項トライアル)
- ◇リーディング産業チャレンジファンドの創設
- ◇まいづる元気産業情報センターの開設
- ◇市内外企業協働によるEV開発の支援
- ◇赤れんがパークのグランドオープン
- ◇観光入込客数の増加(H15:115万人→H25:183万人)
- ◇海フェスタ京都を開催(来場者140万人)
- ◇海上自衛隊と共催で赤れんがハーフマラソン開催
- ◇引揚資料がユネスコ世界記憶遺産国内候補に選定
- ◇文化振興基本指針の策定
- ◇地場産品(舞鶴茶、落花生)を使った新商品開発
- ◇地元料理と地酒のマリッジセミナー開催
- ◇京都市中央卸売市場との連携で地場産品の販路拡大
- ◇有害鳥獣の焼却処理施設等を中丹3市で整備
- ◇集落営農組織の設立支援
- ◇舞鶴高専・海洋気象センターと新エネルギー導入調査実施
- ◇高等教育機関振興方針を策定
- ◇日星高校の校舎耐震化、特新コース設置支援
- ◇全国高校総体レスリング競技の誘致実現
- ◇国道27号西舞鶴道路の用地買収着手
- ◇舞鶴若狭自動車道の全線開通促進
- ◇府道小倉西舞鶴線白鳥トンネル改良の事業化
- ◇文化公園体育館と総合文化会館の機能向上

市民に役立つ市役所づくり

- ◇市情報メール配信サービスを開始
- ◇広報『まいづる』の見直し
- ◇公開事業評価、市民による政策評価を実施
- ◇適正な債権管理を実施
- ◇公共施設マネジメント白書を作成
- ◇人材育成基本方針を作成し、人事評価制度を導入

まちのポテンシャル

定住人口

豊かな自然、歴史文化資産
海・山の自然、縄文丸木舟の歴史

自衛隊員等若年男性が多い
若年層の出会いのチャンス

多様な高等教育機関
高卒者の進学先と雇用への道筋

子育てしやすい環境
合計特殊出生率1.86、待機児童ゼロ

交流人口

観光ブランドの浸透
赤れんがエリア開発・海軍ゆかりのまち

引揚の世界記憶遺産申請
引揚所蔵資料が国内候補に選定

海上交通の発展
クルーズ船の増加、日韓フェリー開設見込

高速道路網の充実
舞若道・京都縦貫道の全線開通

『経済人口』とは・・・

舞鶴市の定住人口に、交流人口による経済効果を定住人口に換算して得られた数(交流人口による年間推定総消費額を定住1人当たりの地域消費額で除して算出)を加えたもの。

地方創生に向けた新たな挑戦

心豊かに暮らせるまちづくり

- ◆「0～15歳」の切れ目ない質の高い教育の提供
- ◆「子育て交流施設」を核にした子育て支援策等、子どもたちの未来を拓く取組み
- ◆中心市街地の都市機能を高め、暮らしやすい「舞鶴版コンパクトシティ」を実現
- ◆高齢者を街なかへの、若者を農村漁村への移住定住を促進
- ◆農業への新規就業支援、空き家を活用した農山漁村への移住定住を支援
- ◆福祉、健康、環境等成長分野を中心に雇用を拡大
- ◆赤レンガ倉庫群等歴史文化遺産の“日本遺産”登録
- ◆伝統行事や民俗芸能の継続、復活を支援
- ◆西運動広場の整備
- ◆市職員サポート体制を強化し、自治会、地域の活動を支援
- ◆市内高等教育機関、大学との連携により、地域を支える公共人材を育成

安心のまちづくり

- ◆公的4病院を府立医科大学と連携し、府北部の医療拠点として充実
- ◆医療系ビッグデータを活用し、独自の医療政策や健康増進策を展開
- ◆市内専門学校(H27年4月開校)と介護、医療施設と連携し、介護人材を養成
- ◆市民が健康で元気に暮らせる都市“スマートウェルネスシティ”を実現
- ◆旧市民病院跡地を活用し、「健康づくり、交流・賑わいの拠点」を整備
- ◆自然災害、原子力災害等に備えた体制強化と基盤整備の促進
- ◆消防団、自主防災組織の活動を支援し、防災体制を充実
- ◆海上自衛隊、海上保安庁等国の機関や京都府とのさらなる連携を強化

活力あるまちづくり

- ◆赤レンガパークから潮路通りまでの一帯を観光戦略拠点として、観光、商業、歴史・文化のまちづくりを推進
- ◆西地区で田辺城跡を核にした歴史のまちづくりを推進
- ◆大浦地区で観光拠点を活かした着地型観光を、加佐地区で豊かな自然を活かした移住・定住環境づくりを推進
- ◆地域を支える既存企業の支援拡大、京都舞鶴港等を活かした企業誘致の実現
- ◆農林水産業の経営基盤強化に対する支援、災害に強い農場づくり、農水商工連携の推進、有害鳥獣対策の強化
- ◆「海の京都観光圏」と連携し、豊かで魅力ある観光資源を活かした観光振興
- ◆日韓フェリー航路開設、クルーズ客船寄港誘致、港湾物流の拡大、港湾整備の促進
- ◆小倉西舞鶴線4車線化、西舞鶴道路、臨港道路安久線、引き土境古線、和泉通線等の主要道路の整備
- ◆全国規模のスポーツ大会開催、オリンピック等国際大会の合宿誘致

定住の促進

交流人口の拡大

経済人口10万人のまち

